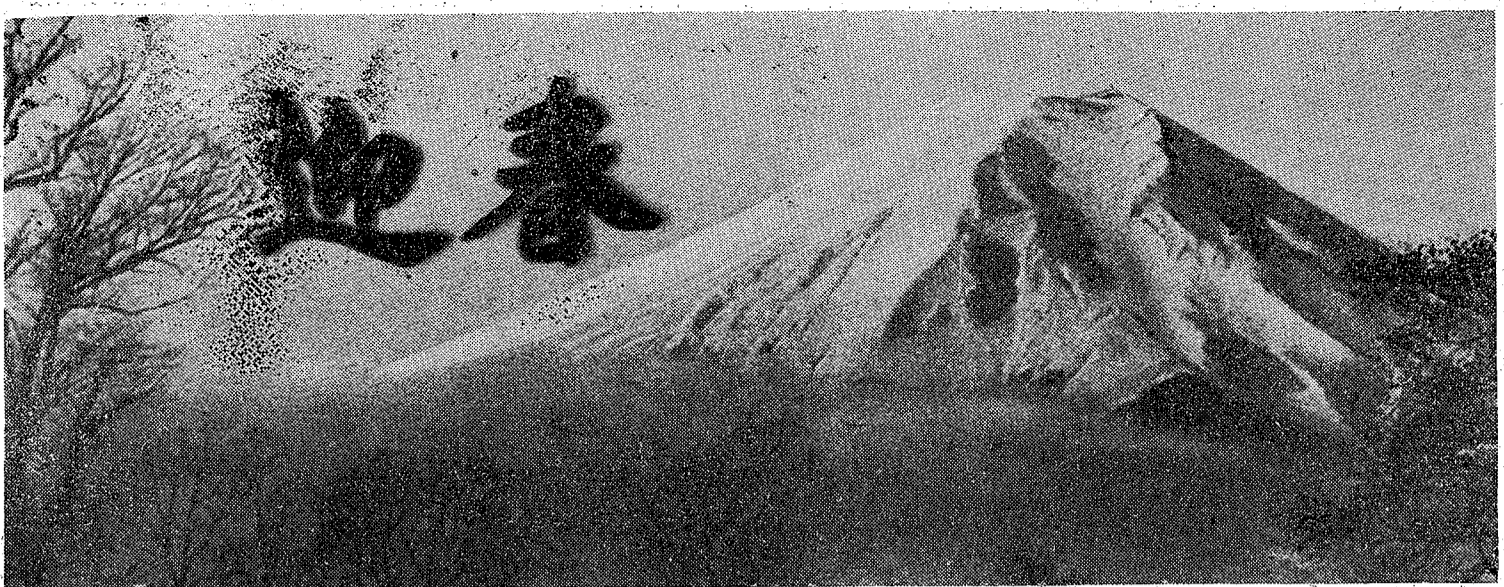




発行所 埼玉県南埼玉郡 越谷町役場企画室 電話越谷42,517,519番



越ヶ谷小学校 入札行わる

増築工事 入札行わる 五百二十九万四千円で落札

入札においては、工事取扱規定で入札が行われましたが、大宮市東建設株式会社の入札した円〇・三割(五百三十九万五千九百四十四円)に落札決定

- 建設工事入札指指名者
- 落札人 佐藤土木(合)
 - 同 佐藤工務店
 - 同 宇田建設(株)
 - 同 中村兼吉
 - 同 斎藤七五郎
 - 同 山崎組
 - 同 川上工務店
 - 同 高梨工務店
 - 同 佐藤建設(株)
 - 同 武蔵建設(株)
 - 同 八生建設(株)
 - 同 不動組
 - 同 東興建設(株)
 - 同 田中建設(株)
 - 同 立野建設(株)
 - 同 斎藤工業所

廿八日(月)納め五日から執務

恒例の通り役場の事務は二十八日(月)に納めを済まし、正月四日は全職員が初顔合せ、五日仕事はじめとなり、事務取扱いは二十八日から一月四日までの八日間休業させていただきますのでご了承下さい、なお税務等の徴収事務のみ三十日まで行います

年頭のことば

夜氣と元旦

町長 大塚伴鹿

人にはみな良心がある。し意味での町長気質とか、町長も、それぞれの仕事の性質的良心とかを磨いて育てていく。これを磨き育てていく。これを磨き育てていく。これを磨き育てていく。



心を称して「夜氣」といつたり「元旦の氣」といつたりした。元旦の良心は、いはば一年間の人間生活をきめる夜氣であり元旦の氣である。昨年一年間にとつてきた施策が果して住民の福祉に十全に添い得たかどうか。ことはどんなふうにか。ことはどんなふうにか。

年頭に当りて

町議会議長 横田正男

新大越谷町成立二年の新年を、皆様と共に目度迎えた事の出来ましたことを喜びたい。私共、明るい住みよき町建設に向けて努力をいたして参りました。教育面、また産業経済の面、あるいは消防面に、厚生施設としては多量に建設され、上水道の建設に、その諸口が見出され、下水道等の施設等も著々工事竣工に努力、社会福祉等の事業等も折角努力中であり

昭和三十一年新春のお慶びを申し上げます

越谷町役場

町長 大塚 伴鹿
助役 池ノ谷 与一郎
収入役 浅見 英蔵
ほか職員一同

武蔵 栄吉 須賀 義正
須賀 定吉 浅子信治郎
大野 義雄 大野 寛人
降田清一郎 藤井 恒敬
中井文次郎 中村喜四郎
石垣 正平 岡本和三郎
中川多四郎 藤間 高介
川島 有為 加藤 一郎
山口 浩 浜野 宗市
中村文之輔 中野 首次郎
井出 門平 小林 彌次郎
木下 半助 須賀 孝専次
深井 哲三郎

越谷町消防団
団長 荒井 政太郎
副団長 大貫 玄蔵
民生委員一同、行政連絡員一同
公平委員一同、監査委員一同
納税組合長一同、衛生協力員一同
同、消防委員一同、固定資産評価審査委員一同、国保運営協議会委員一同、社会教育委員一同

新生活運動の発展を期す

司会者 次社会教育、学校教育に育に移りますが、最近全国的に展開されております新生活運動と結びつけておねがいしたい。司会者 先程瀬尾さんから公民館活動は報徳精神とも関連があること申されたが、この点も少し意見を述べてほしい。

住みよき越谷町を

新生活運動はまず人間形成

中島(清) 世の中に害毒を流しているものを除去するため吾々司法保護司会は活動し、又反面刑務所、或いは少年保護、仮釈放になつた者を保護養成しておける、これらの事を実施するに予算にはいつもなやんでおるのである、それ各地域性を生町で何分の善処を要望する

司会者 桃木さん、何かご意見からと申してよい。司会者 桃木先生のいわれたこととこの座談会のすべてである。桃木 新生活運動を町が主体になつてやつてはどうか、新生活運動の方向をこの座談会を通じてどうしたらよいか。石井 新生活運動は先づ人間形成の方向である、人間形成によつて家庭生活を明るくし、組織を通して生活をあげてほしい、私の希望は社会形成に進むこと、これがよい、そして農村の家庭生活を改善、婦人会の新生活運動はこれを根拠とする。特に農村婦人の解放、本として、やつてゆく方針であると思う。(主人やしゅうとの理りますので物心両面のご理解と解のも)、あまりにも労働がご協力をお願いしたい。

司会者 本日の座談会は最初の試みでもあり、不手際な司会であつたので時間的にルーズであつた事を許して下さい、本日残つた事を許して下さい、本日残された学校教育、産業、土木面の座談会はぜひ機会をみて開きたいと思ひます。

十二月定例町議会開かる

水道施設 十八議案可決

十二月定例町議会は既報十六日、役場会議室に午前九時召集され、全議員出席して、午前十時横田議長の開会宣言によつてはじまりました。先ず会期を議定し、議案の決定は三日以内と定め、日程をきめ、会議録署名委員を議長指名通り、須賀正義、須賀定吉、浅子信次郎の三議員を決定して町長から提出された十八議案が順次上程、いずれも原案通り可決決定されました。最後に新方架橋について地元の婦人会役員が多数傍聴され熱心に議員の発言を見守つておりました。



※ただちに土木常任委員会に附記、相手のある問題なので次の議会で決めることとし、ここに午後六時二十分に及ぶ全議案の決定を見たとどろくなく終了いたしました。次に決定されました主な議案の説明をいたします。

町税はこうに改正

特別徴収が義務づけらる

△越谷町税条例の一部改正について
地方税法という法律の一部が改正されましたので、越谷町税条例も一部改正することになったので、納税するときに現金の代りとして有価証券を委託することができることになったこと、納税はこれまでお金以外には取扱わなかつたが、町長の定める有価証券(これは規則で定める)であれば現金の代りとして取扱うことになったこと、延滞金四銭を三銭に改めました。

町民挙げて愛の運動

衣料五千点、米九俵を醸出



△町民の愛の運動
既報、町では歳末愛の運動として、不幸な人々に一握の米と、不要衣料一点の醸出を皆さんにおねがひいたしました。皆さん七・五であつたが、ご協力のおかげで、衣料五千点、米九俵と五升、現金三千二百円の大きく醸出をいただきました。

火葬場が町営に

本年一月一日から

△火葬場の設置及び管理について
△町議会の権限委任について
△越谷町火葬場使用料条例設立について

許可申請を議決

いよいよ水道施設

△水道施設に関する件
水道施設については、再々厚生常務委員を議長とし、且先建設水道地区(川口、戸田、春日部)を全議員による視察する等の経過を経て本会議に上程の運びとなり、厚生常任委員会に附託審議し、その常任委員会決定に進めなければならぬ事である。給水量二二六立(最大給水量)

初の越谷町消防団査閲

堂々十一分団集合のよし

恒例の消防査閲も、本年は越谷町自体、初の消防団査閲を去る二十日、越谷高等学校々庭に、各地区分団、特に川柳三分団編入合併ともない一分団組織し参加を得、ここに十一分団約一、四〇〇名の団員が堂々と集合、県知事を査閲官に迎えて午前八時三十分分団員整列をもつてはじまりました。郷土の生命財産を守る消防精神が、伝統とその勇壮、華麗を誇る水の祭典となつて、又堂々とたゆみない訓練と実績が結果されて、ここにくりひろげられたのであります。

元荒川沿岸で

機械化消防の威力發揮

会場は来賓として地元選出委員会、ポンプ三輪車七台、可搬式議員、県消防協会係官、町会議ポンプ十四台、腕用ポンプ五〇台、消防委員、隣接町村長並びに、手引ポンプ二台が整列、査閲長方々が臨席、総指揮官須賀町長、消防協会支部長、賀増林分団長の号令下、団員消防協会係官、警察署長一行の一、四〇〇名、ポンプ自動車三各分団毎の人員、姿勢、服装の

不用品拂下げ公告

左記のとおり不用品を、一、場所、旧越谷町役場庁舎、二、品名、三、古雑誌、四、古金庫、五、その他不用品

一、日時、昭和三十一年一月十日(火)午前九時

年度	起債	町一般会計	計
三三	二二	二二	二二
三二	二二	二二	二二
三一	二二	二二	二二
三〇	二二	二二	二二
二九	二二	二二	二二
二八	二二	二二	二二
二七	二二	二二	二二
二六	二二	二二	二二
二五	二二	二二	二二

謹賀新年

委員 廣報専門委員会
委員長 山田 隆重
副委員長 増田 俊雄
砂田 保 石井 節子
須賀 定吉 浅井 堅敬
豊田 史夫 高橋 一博
青木 生夫 山崎 哲夫
植竹 勇 斎藤 哲夫

功業者、永年勤続者を表彰

再び最初の体形にもつて表彰式にうつり、越谷消防団が特別優良消防団として県消防協会から栄ある表彰を受け、以下消防協会越谷支部長から、特別功業者四名、一等功業者九名、二等功業者二十名、三等功業者五十一名、団員外功業者九名にそれぞれ功業者、表彰状が授けられ、永年勤続者八十四名に対しては更に町長から退団者三十九名に對し、感謝状と記念品が各分団毎に贈られ、ここに表彰式は終了し、査閲官の講評訓示、町長のあいさつ、町長及び査閲官、荒井団長の答辞、並びにあいさつがあり、大真副団長の閉式のことがあり、午後一時三十分終了いたしました。